

コード	402070101
記入日	H23.6.6

課コード	115
課名	農林課
課長名	幹 保孝
担当者	古川 利久

事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	森林公園管理事務
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 一 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	2
基本事業コード	40207	基本事業名称	林業の環境整備	目コード	1
事務事業コード	4020701	事務事業名称	森林公園等管理費	細目コード	908
関連計画	法令・条例規則等		新上五島町森林公園施設条例		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象しているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 森林公園		(対象指標1)	4箇所			
(対象2) 利用者		(対象指標2)	13,000人□H22実績)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・ 森林公園の清掃や草刈を行い利用者の利便性を図った。管理委託者に管理日誌を整備させ、管理内容の確認を行っている。 →トイレ清掃 48回（月4回） →草刈 延べ12回（一箇所ごと年4回、津和崎は除く）	① ***** 清掃回数	***** 48回	***** 100%	***** 清掃回数+計画した清掃回数	***** 平成22年度
(達成率分析)		津和崎公園、城山公園、一二三滝公園、高熨斗緑地公園を月4回実施。確認は担当者において行った。				
		② ***** 草刈回数	***** 10回	***** 100%	***** 草刈回数+計画した草刈回数	***** 平成22年度
		(達成率分析)	城山公園、一二三滝公園年4回、高熨斗公園年2回をそれぞれ実施した。担当者において確認。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
	・ 公園を利用する利用者が安全、快適に利用できるように、公園の清掃や草刈を行うことで、利便性の向上を図るとともに、森林環境への住民関心を深めることを目的としている。	① ***** 利用可能日数	***** 365日	***** 100%	***** 利用可能日数+年間日数	***** 平成22年度
		(達成率分析)	利用についての苦情等はなく、年間を通して利用できた。			
		②				
		(達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	300	300	252	48	48					
	② 回	66	66	56	10	10					
成果指標	① 日	365	365	365	365	365					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	32,690	33,069	27,637	5,053	5,432					
直接事業費 A	千円	8,190	8,569	6,637	1,553	1,932					
人件費 B	千円	24,500	24,500	21,000	3,500	3,500					
内訳	従事職員数	人	3.5	3.5	3.0	0.5	0.5				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	32,690	33,069	27,637	5,053	5,432					

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	森林公園管理者として、衛生面、安全面に責任を持つため維持管理は最低限必要である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	森林公園については、環境、社会情勢の変化に関係なく憩いの場として常に確保していく必要がある。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	森林公園の維持管理であり、適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	成果については、毎年13,000人以上の利用者が訪れ利用しており、公園として多に活用され施設効果は高い。苦情等については、ほとんどない。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	維持管理は適正に行われているため、成果を向上させる余地はない。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	維持管理しなければ、雑草の繁茂、ゴミの散乱、トイレの不衛生などが考えられ、利用者に不快感を与え利用者は減り、苦情は多くなる。直営でできる範囲は限られる。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業はない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	必要最低限で積算した額で委託を行っているため削減できない。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	人件費はぎりぎりの状態である。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	直接的な受益者負担は生じない。

改善

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		有効性	森林公園は利用者も多く、住民憩いの場所として十分に成果を出している。今後も継続することで、森林環境保全について、住民の理解は得られる。
		効率性	すでに最低限の維持管理費であるので大幅な削減はできない。
		課題に向けた改善策	特になし。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	今後も維持管理に努め、住民や観光客に親しまれる公園づくりに努めること。
		効率性	維持管理経費は適正に執行すること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。